

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和7年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 入山辺地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 500,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 定例会等運営				
実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実 施 場 所	入山辺公民館			
事 業 概 要	・グループごとによる討議とまとめ ・事業内容確認及び先生による指導 ・ホームページの管理や会の運営等			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	・毎月の定例会には28名程度の参加があった。定期的に地域課題に向き合うことにより、郷土への愛着心を育むことができた。 ・松本大学の向井 健 准教授からグループの活動等の振り返りや今後の実施計画について指導を受けることで、会員が地域活性化につながる着想のヒントを得ることができた。 ・定例会において討議を継続することで、住民相互の思いや活動の工夫を共有している。			
課 題	・新規会員が会の趣旨・目的や取り組む課題・テーマについて理解し、会員それぞれが関心をもっていることや取り組めることを話し合える場にしていきたい。 ・チラシや既存のホームページやSNS等の媒体を活用し、効果的な会の広報の発信に努めていく。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	173,519円	70,000円	0円	103,519円

② 事業名： 入山辺地区の将来ビジョンを考える会 観光と魅力発信グループ				
実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実 施 場 所	入山辺地区内			

事業概要	・山辺パノラマライン沿いの藤棚、旧霞山荘周辺の整備 ・集落案内板の補修 ・ガイドマップおよびウォーキングマップの増刷 ・山辺ワイナリー掲示板へ行事等写真の掲出(毎月) ・HPやSNSを利用した広報活動			
地域づくりの成果・効果	・地区内外の方が地区内を散策することが増え、地区の魅力を知ってもらい、訪れたい・住んでみたい入山辺の実現につながっていると考えている。 ・地区の魅力や活動内容を写真等で発信することで、取り組んでいる会員に限らず、地域の住民が知る機会となり、地域に愛着と誇りを感じる効果を生んでいる。			
課題	・地域資源をどのように地域の魅力として活用していくか。 ・地域資源の掘り起こしと地域の活動等のさらなるPR方法を検討する。			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	318,876円	291,843円	0円	27,033円

③ 事業名：入山辺地区の将来ビジョンを考える会 食農振興グループ

実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実施場所	入山辺地区内			
事業概要	・みんなのSOBAで楽し味隊(蕎麦づくり) ・田んぼのわプロジェクト(もち米づくり) ・山辺小学校体験学習支援(もち米づくり)			
地域づくりの成果・効果	遊休農地を活用したもち米や蕎麦の栽培に継続して取り組み、住民同士の絆づくりや世代間を超えた交流の場をつくっている。			
課題	親子や若者が気軽に参加しやすいように企画内容を工夫し、事業開催の周知方法を検討していく。			
決算額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	46,801円	46,801円	0円	0円

④ 事業名：入山辺地区の将来ビジョンを考える会 住みやすい地域づくりグループ

実施主体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実施場所	入山辺地区内			
事業概要	・景観整備(ハナモモ周辺の草刈り等メンテナンス・県道沿い花畑の整備) ・送迎ボランティア活動の推進 ・サロン「赤ちょうちん」の開催 ・ゆめ喫茶の開催			
地域づくりの成果・効果	・町会の役員等にご協力いただき、平成25年から植栽してきたハナモモや桜等を管理しており、地域全体で自然と眺望が魅力の景観を保全する機運をつくり出している。 ・地域に住む子どもたちやご高齢の方々が地域の活動等に興味をもってもらい、地域と関わる風土を育てている。 ・住民同士の交流を促す事業を実施し、世代を超えた連帯意識を醸成している。			

課 題	・地域住民が住みやすい環境をつくるため、自然環境の整備と子育て・高齢者支援に資する取り組みを具体的に検討していきたい。 ・ここ数年間実施できなかった交流の場を再開してきており、住民同士が気軽に参加し、繋がり合える場をつくるため、会でさらに検討していきたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	55,155円	55,155円	0円	0円

⑤ 事業名：入山辺地区の将来ビジョンを考える会 DIYグループ

実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実 施 場 所	入山辺地区内			
事 業 概 要	・製作物のメンテナンスと地域のイベント等での活用 ・どこでも椅子の製作 ・モルック製作			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	・平成29年度にドラム缶で作製した組み立て式ピザ窯「じゃんドラ君」など住民のアイデアを生かしたイベント用製作物の企画や製作・改良を行い。地域の各種イベントで活用することで住民のつながりの場をつくっている。 ・地域づくりの活動に活用できる製作物を会員のアイデアを出し合って製作することで、会員の主体的な活動が促進されている。 ・どこでも椅子、モルック制作により、地域での住民交流、福祉ひろば等のイベントで活用されている。			
課 題	・会員やそれ以外の方から製作物のアイデアを募ったり、製作物の利用機会を増やしていくことで、人と人とのつながりづくりや絆づくりに取り組んでいきたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	26,201円	26,201円	0円	0円

⑥ 事業名：東山部不用食器回収活動

実 施 主 体	入山辺地区の将来ビジョンを考える会、農村女性協議会(入山辺地区、本郷地区、旧市、中山地区)、入山辺地区町会連合会、入山辺地区衛生協議会、安全協会入山辺支部、入山辺地区町内公民館長会、入山辺公民館、入山辺地区地域づくりセンター			
実施日(期間)	令和6年4月1日から令和7年3月31日			
実 施 場 所	入山辺地区内			
事 業 概 要	・不用食器回収活動についての学習会 ・不用食器回収活動および「もったいない市」の開催			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	・実行委員会を組織し、活動の理念を共有しながら、取り組みの具体的な進め方を決めるというプロセスを経て、関係する団体や住民有志が広く活動に参加することにつながった。 ・入山辺地区のみでなく、他地区からも多くの来場者があり、市民活動として不用食器の回収からリユース・リサイクルまでの循環を推進する動きに広まる一助となった			
課 題	活動に対して会の関わり方を検討しつつ、会員が主体的に取り組みに参加できるように促進していかなければならない。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	10,000円	10,000円	0円	0円

- a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額
b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額
c : この事業に充当したその他の財源の額

決 算 額 (計) (①+②+③+④+⑤+⑥)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	630,552円	500,000円	円	130,552円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:					
積立目的					
積立期間		年度から 年度まで (本年度 年目)			
積立ての目標金額		円			
積立実績	区分		積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計
	前年度までの積立経過	1年目	円	円	円
		2年目	円	円	円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績		D 円	E 円	F 円
	合計額				
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日(期間)					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E+G	財 源 内 訳			
		E		G	
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	円
-------	---	---

[参考]繰越上限額=I×2／10

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し